



2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月7日

上場会社名 株式会社 ティア
 コード番号 2485 URL <https://www.tear.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年5月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東名

(氏名) 富安 徳久
 (氏名) 辻 耕平
 配当支払開始予定日 2020年6月1日
 TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	6,671	0.3	749	24.0	745	24.3	504	24.9
2019年9月期第2四半期	6,692	5.8	986	12.6	984	13.2	671	13.3

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 504百万円 (24.9%) 2019年9月期第2四半期 671百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	22.53	
2019年9月期第2四半期	31.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	13,510	9,311	68.9
2019年9月期	13,301	8,940	67.2

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 9,311百万円 2019年9月期 8,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		5.00		6.00	11.00
2020年9月期		10.00			
2020年9月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,695	7.2	1,220	5.5	1,215	5.5	815	3.0	36.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	22,406,100 株	2019年9月期	22,404,800 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	1,470 株	2019年9月期	1,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	22,403,663 株	2019年9月期2Q	21,505,786 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産面において海外経済や自然災害の影響がみられたのに加え、消費税率引き上げによる個人消費の落ち込みにより、力強さを欠いております。また、2月以降、新型コロナウイルス感染症拡大により、世界経済の減速につながる懸念材料が出てきており、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましても、前年同期と比較し葬儀件数は増加する一方、葬儀単価は低下しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現とその後の持続的な成長を目指すべく「オンリーワンブランド“ティア”」のスローガンのもと、ローリング方式により中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。新規出店の状況につきましては、直営は名古屋市内に「ティア幸心」を開設し、葬儀相談サロンとして東京都内に「ティア押上」を開設いたしました。フランチャイズでは、愛知県下に「ティア安城桜井」を開設し、これにより直営70店舗、フランチャイズ49店舗の合計119店舗となりました。売上原価におきましては、葬儀付帯業務の内製化を推進したものの労務費等が増加し、経費面では中長期の出店を見据えた人材の確保や、店舗数増加に伴う広告宣伝費等が増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は66億71百万円（前年同期比0.3%減）となり、売上原価率は前年同期と比べ0.6ポイント上昇し、販売費及び一般管理費は前年同期比10.4%増となりました。これにより、営業利益は7億49百万円（同24.0%減）、経常利益では7億45百万円（同24.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億4百万円（同24.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、既存店の件数が減少したものの、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比3.6%増の5,862件となりました。葬儀単価におきましては、葬儀付帯品の単価は概ね横這いとなったものの、祭壇売上や供花売上の単価が低下し、前年同期比3.6%減となりました。この結果、売上高は64億59百万円（同0.2%減）、営業利益は12億44百万円（同12.9%減）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ3店舗増加し、ロイヤリティ収入が増加したのに加え、下期に開設予定のFC会館の加盟料売上を計上する一方、FC会館向けの物品売上が減少いたしました。この結果、売上高は2億12百万円（同2.2%減）、営業利益は53百万円（同26.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は38億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億63百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2億81百万円増加したことによるものであります。固定資産は96億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が26百万円、無形固定資産が20百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、135億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は21億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が1億2百万円減少したものの、未払法人税等が99百万円、短期借入金が80百万円増加したことによるものであります。固定負債は20億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億15百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が2億19百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、41億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億62百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は93億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億71百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益5億4百万円及び剰余金の配当1億34百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の帰趨や、内外経済に与える影響の大きさ及び期間について不確実性が高く、当社グループの業績にも影響を与えることが予想されますが、現時点でその影響額を見積もることは困難な状況であります。そのため、2019年11月8日に公表いたしました、「連結業績予想」「配当予想」を据え置き、状況の進展及び事業の進捗を踏まえ、適正かつ合理的な算出が可能になり次第、速やかに開示いたします。

連結業績予想の前提条件としましては、葬祭事業におきましては、既存会館が堅調に推移する見通しなのに加え、新規出店の稼働による増収効果を見込んでおります。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うとともに、会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では取扱商品の見直しや、葬儀付帯業務の内製化等の商品原価率の低減を推進する一方で、「直営会館8店舗開設に伴う会館開設費用」「積極的な新卒採用及び賃金制度改定に伴う人件費」「営業チャネルの多様化に伴う広告宣伝費」等を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,968	3,250
売掛金	410	404
商品	49	51
貯蔵品	49	59
その他	156	130
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	3,629	3,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,088	5,980
土地	1,516	1,516
その他(純額)	604	705
有形固定資産合計	8,209	8,202
無形固定資産	95	74
投資その他の資産		
差入保証金	921	898
その他	446	444
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,366	1,340
固定資産合計	9,671	9,617
資産合計	13,301	13,510
負債の部		
流動負債		
買掛金	323	331
短期借入金	83	164
1年内返済予定の長期借入金	598	496
未払法人税等	192	291
賞与引当金	159	183
その他	750	693
流動負債合計	2,107	2,160
固定負債		
長期借入金	1,230	1,011
資産除去債務	606	614
その他	416	412
固定負債合計	2,253	2,038
負債合計	4,360	4,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,872	1,873
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	5,561	5,931
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,940	9,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	8,940	9,311
負債純資産合計	13,301	13,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	6,692	6,671
売上原価	3,914	3,944
売上総利益	2,778	2,727
販売費及び一般管理費	1,791	1,977
営業利益	986	749
営業外収益		
受取利息	2	2
受取保険金	22	0
広告料収入	5	5
その他	3	4
営業外収益合計	34	13
営業外費用		
支払利息	16	13
株式交付費	20	0
和解金	—	3
その他	0	0
営業外費用合計	37	18
経常利益	984	745
税金等調整前四半期純利益	984	745
法人税、住民税及び事業税	292	251
法人税等調整額	19	△10
法人税等合計	312	240
四半期純利益	671	504
親会社株主に帰属する四半期純利益	671	504

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	671	504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	671	504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	671	504
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	984	745
減価償却費	278	289
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	24
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	16	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△25	5
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12	△12
仕入債務の増減額 (△は減少)	16	7
その他	△152	15
小計	1,106	1,084
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△15	△12
法人税等の支払額	△259	△149
営業活動によるキャッシュ・フロー	831	922
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△317	△257
無形固定資産の取得による支出	△17	△17
差入保証金の差入による支出	△20	△11
差入保証金の回収による収入	40	37
その他	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316	△249
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300	300
短期借入金の返済による支出	△270	△219
長期借入れによる収入	225	—
長期借入金の返済による支出	△366	△321
株式の発行による収入	1,356	—
リース債務の返済による支出	△14	△15
配当金の支払額	△101	△134
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,129	△391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,644	281
現金及び現金同等物の期首残高	2,125	2,968
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,770	3,250

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2020年1月16日開催の取締役会決議に基づき、当社の執行役員に対する譲渡制限付株式報酬として2020年2月14日付で新株式の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ0百万円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が1,873百万円、資本剰余金が1,506百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,475	217	6,692	—	6,692
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	6,475	217	6,692	△0	6,692
セグメント利益	1,428	41	1,470	△483	986

(注)1. セグメント利益の調整額△483百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△483百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,459	212	6,671	—	6,671
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	6,459	212	6,671	△0	6,671
セグメント利益	1,244	53	1,297	△547	749

(注)1. セグメント利益の調整額△547百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△547百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。